別紙1

指定管理者のモニタリングシート

1，基本情報

確認年月日：令和3年11月9日

施設名	土淵地区活動センター		
住所	盛岡市前潟四丁目4番30号		
指定管理者名	社会福祉法人　盛岡市社会福祉事業団	所管課名	市民協働推進課
指定管理料（年額）	9,626,481		
今回確認期間	令和 3 年 4 月 1 日 から令和 3 年 11 月 30 日 まで （ 8 ヶ月間）		

2，業務の履行状況の確認について

（1）稼動実績

項目		今期計画	今期実績
開館日数		360	244
延べ利用者数	団体数	1,652	1,067
	利用者数	17,848	12,243
主要事業開催回数	自主事業(共催事業含む)開催数	2事業	1事業

（2）管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し，これらに沿った管理運営がなされているか。	適・要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか（一部の市民・利用者に対して，不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。）。	適・要改善
施設の効用の発揮	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	建物，外構，設備の修繕の履歴は整理，保管されているか。	適・要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	適・要改善
	鍵は適正に管理されているか。	適・要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	適・要改善
	備品の購入，廃棄，修繕の記録について整理，保管されているか。	適・要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	適・要改善
	危機管理	
	危機対応の手順は整備されているか。	適・要改善
管理能力の確保	適正な人数の職員が配置されているか。	適・要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	適・要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	適・要改善

（2）管理運営実績（続き）

項目		確認欄
個人情報保護	施設で取り扱う個人情報は，特記仕様書に基づき扱われているか。	適・要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について，記録が整備されているか。	適・要改善
	あらかじめ市に協議するべき事項について，適時に協議がされているか。	適・要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について，適時に報告がなされているか。	適・要改善

3，サービスの質の確認について

（1）サービス提供の状況

項目		確認欄
職員対応	職員の身だしなみは適切か	適・要改善
	利用者への応対のマナーは適切か	適・要改善
	利用者に対する職員の案内，説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	適・要改善
施設管理	施設は清潔に保たれているか。	適・要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	適・要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	適・要改善
苦情要望	利用者からの苦情・要望に対し，適切な対応がなされているか	適・要改善
	利用者からの苦情・要望について，市への連絡報告が適切に行われているか	適・要改善
利用促進	事業実施の周知が適切になされているか。	適・要改善
	使用許可手続きは円滑に行われているか	適・要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	適・要改善

4，指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

今年度の当施設管理運営については，利用者の利用拡大施策よりもコロナウイルス感染防止の観点から三蜜の回避やマスクの着用，手指消毒の徹底，換気等の防止策を重点に利用者への情報提供および共有化に努めた。
センターが8月22日から9月16日まで利用中止となり、事務局長指示の「安心・安全な施設」の再点検を実施、①臭気が気になっていた男子トイレの高速洗浄機や薬品により徹底洗浄し改善を図った事、②利用者から要望の強かった体育館のカーテン（10面）の補修について、経年使用により破損したランナーの交換や縫い目が解れた生地を利用者サークルの協力を得て修理し、多くの利用者から感謝された。
広報誌「土淵活センだより」は予定通り毎月発行，全戸配付し行事予定や実施状況，サークル等利用団体の活動内容を掲載し地域住民に紹介している。また例年は年1回，利用者説明会を開催し利用団体と意見交換会を実施し利用者視点での利用促進を図っていたが，今年度はコロナの影響で説明会を中止し、アンケート調査による要望意見を集約した。

5，モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	所管課
年明けのオミクロン株の全国的な感染急拡大により、今後の感染に見通しがつかない状況ではあるが、今後も利用者と一体となって情報を共有しながら感染防止に取り組んでいく。 「安心・安全な施設」を一丁目一番地として日常の施設点検を実施しながら職員の意識づけを図るとともに、利用者が安心して利用できる施設運営を進める。	土淵地域活動推進協議会と連携した行事の企画など地域に根ざした施設として定着しているとともに，センターだよりを回覧するなど，積極的に事業の周知を行い，利用者の増加に努めている。今年度もコロナ対応により，施設運営においては難しい面も多々あったが，実施方法を工夫して事業を開催するなど柔軟に対応していただいた。 今後も住民の集会やレクリエーションなどコミュニティ活動の拠点としての役割を担っていただきたい。